

開講科目名 / Course	国際看護学演習	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期、2 学期 / First, Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2, 3	
主担当教員 / Main Instructor	桑野 紀子	
担当教員名 / Instructor	宮内 信治、G.T. Shirley、桑野 紀子、篠原 彩	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	演習	
授業回数	15	
科目の目的と概要	<p>本演習は、看護職として多様な価値観を尊重することの重要性について学ぶこと、自分と異なる文化・社会・言語背景をもつ人々と主体的にコミュニケーションを図る能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>国際交流活動や調べ学習を通して、諸外国、日本の文化・医療制度への理解を深める。また、文化や社会経済的背景や保健医療制度がそこに暮らす人々の健康に及ぼす影響について学ぶ。さらに、国際交流を通して英語でのコミュニケーションにおける自己の課題を発見し、改善に取り組む。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化や社会経済的背景、保健医療制度が健康に与える影響について考えを述べるができる。 2. 興味がある国の保健医療制度や文化について国際機関HP等から情報収集することができる。 3. 自分と異なる文化・社会・言語背景をもつ人々の価値観を尊重しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。 4. 英語でのコミュニケーションの課題と改善に向け、取り組む計画を立案できる。 5. 日本人が海外渡航する際のリスクや健康管理のポイントについて述べるができる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. オリエンテーション（本演習の国際交流活動説明、グループワーク説明：諸外国の保健医療情報の収集方法等） 02. 自分と異なる文化・社会・言語背景をもつ人々とのコミュニケーションについて（宮内） 03-04. グループワーク 諸外国の保健医療制度について 05. 実践英語トレーニング（英語での自己紹介等、国際交流参加準備）（Shirley） 06. 自分と異なる文化・社会・言語背景をもつ人々とのコミュニケーションについて（宮内） 07. グループワーク報告会、ディスカッション 08. 海外に渡航する日本人の支援（海外渡航する際のリスク、健康管理等） 09-12. 夏季休暇中の国際交流活動：オンライン国際交流、学生交流プログラム、個人海外研修等 13-14. 英語コミュニケーションの課題整理と改善計画立案 / 実践英語トレーニング（履修学生半数ずつ入替え） 15. 報告会（夏季休暇中の国際交流活動と英語コミュニケーションの課題と改善計画について） 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が実践を通じて主体的に学べるよう国際交流やグループディスカッションを実施する。 ・世界の保健医療に関して情報収集する作業を通じ、看護に役立つ英語での情報収集能力向上を図る。 ・英語でのコミュニケーションに関する知見をもとに困りごとを共有、認知し戦略を立てる。 	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学修：演習中の国際交流活動に向けた準備（英語でのプレゼンテーション準備等）（6h）。 ・事後学修：配布資料を用いた復習、レポート作成による振り返りを通して復習する（6h）。 ・夏季 / 春季休暇中の海外交流活動は演習時間外活動を含む。 	
評価方法と評価割合	平常点（発言等の積極性、国際交流活動やグループワークにおける貢献度）50%、演習の際に提出を求めるとミニレポート50%	
テキスト		
参考書	新しい英語力の教室（インプレス）	
履修する上で必要な要件	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン国際交流等、国際交流活動に可能な範囲で参加すること（一部演習時間外活動あり）。 ・夏季休暇中の個人海外研修等参加時は保護者と相談のうえ、担当教員等の指導のもと各自責任を持って準備し、健康・安全管理に努めること。事前の届け出等は大学規定により行う。 	
その他	・15回のうち4回程度を夏季休暇中の国際交流活動に充てる。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	桑野紀子：看護師、助産師、保健師、篠原彩：看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	看護師、助産師、保健師
実務経験をいかした教育内容	国内外での看護実践や国際交流活動に関する経験を活かし、文化社会的背景が看護に及ぼす影響や、多様な背景をもつ人々との英語での効果的なコミュニケーションについて、学生に指導する。	